

# ひとを育てる活動

—チボリの子ども支援—

減額となりますが、今年も SCMSI 校運営を支えます  
— 2015 年度に向けて覚書を交換しました —

HANDSが、チボリの里子支援、及び、SCMSIの運営支援を引き継いで1年半になります。円安定着の中で、12月に開催の理事会では、現在の月12万ペソから10万ペソへと17%弱の減額を決めて現地SCMSIに提示しました。この件は、昨年末の訪問時に、ガンダムさん他幹部との打ち合わせで、合意したものです。しかし覚書交換前に、減額の影響等検討できたらと、遅れていたSCMSIの2013年度会計報告書送付を依頼しました。届いたのは年明けで、減額決定後ですが、私たちの支援の位置付けができる資料として、一部をご紹介します。

SCMSI支援引き継ぎ初年度の、2013年度（2013年6月—2014年5月）年間収入総額に占めるHANDSの支援は、10.5%でした。JOFPAが活動を終了する前の約30%に比べると、依存度は低いので、今回の私たちの減額措置で、新たな学校閉鎖はないだろうと、まずは安心しました。

2年前のSCMSI小学校3校の閉鎖は、JOFPAの活動終了に伴う日本の支援減額だけでなく、オーストラリアの支援が3分の1に減ったこととも関係します。一方で、政府による私立ハイスクール補助金ESCは、2012年度から、生徒一人5500ペソから6500ペソに増額されていて、2013年度はSCMSIの収入の52%を占めています。入学金や授業料収入は21%でした。

SCMSI校の運営のうち、政府補助のない初等教育については、これからも、私たちのような海外からの支援（2013年度はオーストラリア、カンボジア、日本の合計で21%）が大幅に減ると、1校、また1校と閉鎖となるかもしれません。

## SCMSI 校訪問報告

先のツアー6日目、12月1日は、ガンダム学長の案内で、全6校のうち、ベネフを除く5校を訪問し、各教室では里子の紹介を受けました。訪ねた月曜日は週1回の民族衣装で登校の日にあたって、女儿の場合は、刺繍のない簡素なブラウス姿から、チボリダンスを披露できるように重い真鍮細工の腰ベルトで正装した子どももいました。以下、そのいくつかについて、簡単に報告させていただきます。

### — レムエヘック小学校 —

SCMSI運営の小学校のうち、最大規模の250人が在籍するこの小学校では、校庭で、里子17名の紹介のあと、チボリダンスの歓迎を受けました。近くに公立小学校があるにもかかわらず、チボリの伝統を受け継ぐ私立一貫校の初等部として、レムエヘック小を選ぶ親は多いようです。

### — ラヒット小学校 —

ここでは、就学前の弟を連れて授業に臨む子どももいた1年生のクラス、複式学級になっている3年生以上の教室など、順に見学しました。

教室は十分あるのに、複式になっているのは、ラヒット湖対岸に公立小ができて、生徒数が減ったこと、海外支援減少で教師の数を揃えられない等がその理由です。今もこのSCMSI校に学ぶ150名について、今後公立への転出はないか等、先生方に聞いてみました。公立小は、舟で渡るのも、湖を迂回する陸路も大変で、SCMSI校存続を希望する親が多いという答えでした。ちなみにこの3月ラヒット校卒業の里子は4名です。



私たちの里子として、授業料免除など、支援を受けているラヒット小の8名。

### — カレッジとレムエヘックハイスクール —

メインセンターと呼ぶこれらの学校訪問では、増える学生数に対する教室不足問題を現場で確認しました。申請中の床下活用4教室増設資金の助成が決まれば、次年度の学習環境はだいぶ改善されます。

### レイクセブ町ティヌオスの先住民族学校

#### — Indigenous Learning School (ILS) —

78号のP7でもご紹介のように、SCMSI校とは別の私立初等教育施設 ILS (先住民族学校) が、レイクセブ町南西の山岳部の集落ティヌオスにあります。この地区が2014年度地球環境基金助成のアグロフォレストリー事業の対象となったことで、村の森づくりに力を入れている ILS 校と出会いました。SCMSIのベネフ小と同じバラングイ・タクネルにあります。ベネフ小も、その他の公立小学校、幼稚園も、このティヌオスの低学年児童や幼児には通えない距離にあります。

11月末の訪問でも、来年度も山の学校を存続できるようにと、SCMSIカレッジ卒業生の教師たち、その1名の給与を、また、給食費の支援要請を受けました。

レイクセブにも就学困難な子どもたちがまだいます。アバカやゴムの木からの収入が入るまでの2-5年間、支えて下さる方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

(SCMSI卒のバート先生と1年生)

